

(報告書の概要)

植物科学センターは、理研の伝統である国内外に広く認められている、卓越した、革新的でインパクトの大きい植物研究を引き続き進めた。篠崎一雄センター長の指導のもとで、予算が減少しているにも関わらず、PSC は研究の卓越性、ブレークスルーのある発見、および効果的なコラボレーションにおいて顕著な進歩を達成した。PSC は、強いミッションと基礎および応用研究の戦略計画の明確なビジョンを有し、革新的な技術プラットフォームに支えられており、成功軌道に乗って進んでいる。PSC は、その業績により世界の主要植物科学センターの中で卓越した競争力のある位置を占めている。

勧告の要旨：

PSAC は理研 PSC の研究の進歩、およびその国内外における影響力に感銘を受けた。この影響力および認知度を継続するために、PSAC は PSC による次の項目の実行が好ましいと勧告する。

- ・植物科学を日本および世界で推進する。
- ・戦略計画を策定し実行する（前向きに）。
- ・PSC 全体の目標と戦略計画に沿った新しい任命を考慮する。
- ・相乗効果および付加価値を追求する。
- ・バイオインフォマティクス・リソースを蓄積し相乗効果を発揮させ、モデル化に関する研究を増やす。
- ・メタボロミクス研究活動を統合する。
- ・組織を簡素化/合理化する。

(委員リスト)

委員長, Wilhelm Gruissem 博士 スイス連邦工科大学, チューリッヒ校 (ETH Zurich, Swiss Federal Institute of Technology), スイス

Elizabeth Dennis 博士 CSIRO Plant Industry, オーストラリア

Richard Dixon 博士 Noble Foundation, 米国オクラホマ

廣近洋彦博士 農業生物資源研究所, 日本

Dirk Inzé 博士, ゲント大学 (University of Gent), ベルギー

Peter McCourt 博士 トロント大学 (University of Toronto), カナダ

渋谷直人博士 明治大学, 日本

田畑 哲之 博士 かずさ DNA 研究所, 日本

田中良和博士 サントリー株式会社, 日本